



立憲民主こまえ 加藤 功一

風水害対策及び複合災害への備えについて

①洪水対策で国は利水ダム運用を見直したがその内容は②複合災害時の避難所の感染症対策で医療保健関係者との連携は。

①上流の予想降雨量が基準以上のとき事前放流を実施する②多摩府中保健所と災害時の行動等について情報共有を行った。

プレミアム付商品券のあり方及び電子化について

①プレミアム付商品券を電子化するメリットは②プレミアム付商品券の電子化・スマホ決済の活用



無党派 松崎 淑子

新型コロナウイルス感染症防止に向けて

①感染者の情報公開内容は②市内事業者のコロナ対策のチェックは③コロナ禍の経済影響による子どもの貧困予防対策は。

①都の発表日、性別、年代と入院等の内訳②「新しい生活様式」と3密の回避を依頼③住居確保給付金と生活応援給付金を支給

気候変動にどう立ち向かうか

①地球温暖化対策について市の目標達成のための方針は②庁舎電力調達のための目標達成は③温暖化対策の選択基準は



無党派の 吉野 芳子

を検討すべきでは。

①印刷費のコストカット、換金作業負担の軽減、購入者・販売者の非接触②どのようにすれば実現可能か検討する。

コロナウイルス流行下の生活困窮者対策について

①一時生活支援事業の実施や地域居住支援事業の活用は②生活保護の要保護該当者に自立支援事業へ勧奨はしていないか。

①実施体制の整備を含め、十分な準備をして実施すべきと考える②申請権の侵害を疑われることがないように徹底している。



無党派 三宅 まこと

につながる補助金制度は。

①市民、事業者周知啓発を重視②一定の環境配慮を行い業者を選定し価格競争③狛江市地球温暖化対策住宅用設備導入助成金

人権をまもる ジェンダー政策とは

①職員向け相談機能の評価②市民のDV相談窓口は？他部署との連携はどう行っているか③DVや性被害予防教育は。

①相談しやすい環境が整ったと評価②女性のためのカウンセリング設置等支援の中で情報共有③各学校で人権尊重教育等推進。



無党派の 吉野 芳子

若者を取り巻く課題を知り解決へ歩みを進めよう

①若者がマルチ商法等の被害相談をしやすくする工夫②ヤングケアラーの実態把握すべき③認知機能を高めるトレーニングとその効果④ひきこもり等の若者支援市の方向性⑤孤立させない親支援が必要では。

①SNS等若者が確認しやすい媒体で注意喚起が必要②地域関係者等から情報を得ることが有効③身近なものを教材とし視覚認知や想像力を鍛える④家族等の気軽な相談機会は検討⑤親支援の重要性は認識。

改修基本方針が示された図書館と市民センター

①改修後の市民センターは、現利用者以外に幅広い市民が利用してもらえるよう計画すべきでは②市民センターと図書館の基本構想策定がずれている理由は③市民の納得性の意味で、市民センター基本構想策定期に「狛江における図書館整備全体の方向性」を含めた議論が必要なのは④市民センター改修後の図書スペースを児童書・絵本館としてリノベにより、子育て世代向けシタイププロモーションができ



無党派の 三宅 まこと

利用されている方

①利用されていない方の意見も聞き、狛江に求められる施設にする②市民センターは、予定から5年経過し、老朽化が激しいことから、早く工事を行う必要がある③市民センター基本構想の検討にあたり、新図書館の意見もあると思われ、そこでの意見は新図書館基本構想の検討に引き継ぎ、また、それを踏まえて市民センターについて検討する④シティセールスとして、子育て世帯をターゲットとしたスペースとすることも、一つの考え方である。



無党派の 平井 里美

「住んでよかった」豊かで安心な狛江をめざして

①多摩川利活用の方向性②多摩川漁業協同組合の活動内容と多摩川活性化のために相互協力を③安心安全な住まいの実現を目的に設立された一般社団法人市民住まい向上委員会、町会等への出前講座の活用

①台風被害の復旧後、必要に応じて計画の修正を図る②河川環境の管理・清掃、あゆやうぐいの放流、漁業権の管理。連携を図れるように取り組む③町会・自治会連合会等に情報提供を行っていく。

コロナ禍の子どものための日常と市民生活

①7月に開所した駄倉小学生クラブ。30人が1部屋で過ごす環境の改善を求む②助産師による訪問サービスで出産と子育てに安心を③多摩川と野川の同時氾濫を想定した避難者数、避難所収容定員数は④市民の主体的な活動、交流と仲間づくりのための公民館・図書館には職員の専門性が欠かせない。教育委員会の見解は⑤チャレンジ補助金交付決定後、2団体が辞退した経過及び理由は。



無党派の 平井 里美

①駄倉小学生クラブは国の設置基準面積を満たすとともに、2階の駄倉地区センターを借用する等工夫して運営②ゆりかご面談やこにちは赤ちゃん事業、健診等で保護者が安心して妊娠・出産・育児に向けて、切れ目のない支援を実施③浸水想定区域に約7万1000人、収容可能数は約5900人④市民の学ぶ権利を保障するためには必要なことと考えている⑤選考会の委員が、当該団体の事業計画の背景を理解していないことに対して、違和感を覚えられたため。

8月31日付で社会常任委員会の委員長と所属委員、総務文教常任委員会、市長附属機関の委員が変更となりました。

●総務文教常任委員会

委員長 三角 たけひさ

副委員長 宮坂 良子

委員 高木 さとこ

委員 三宅 まこと

委員 栗山 たけし

委員 石川 和広

委員 石井 功

●社会常任委員会

委員長 岡村 しん

副委員長 小野寺 克己

委員 平井 里美

委員 松崎 淑子

委員 鈴木 えつお

議会人事

委員長 太田 久美子

委員 谷田部 一之

市長附属機関

●都市計画審議会

佐々木 貴史

●国民健康保険運営協議会

宮坂 良子

●民生委員推せん会

岡村 しん

議会事務局職員の人事異動

11月1日付の職員異動について掲載します(カッコ内は前職)。

●課長職

▽議会事務局次長

安江 真人 (教育部公民館長)

▽教育部公民館長

浅井 信治 (議会事務局次長)

市議会ホームページをご覧ください

https://www.city.komae.tokyo.jp/index.cfm/49.html



狛江市議会のホームページでは、会議録の検索、議会の会期日程や議案の審議結果等の最新情報、議員の紹介、市議会だよりなどを掲載しています。また、本会議、特別委員会のライブ中継、録画配信もインターネットで行っています。 ※スマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます。